

新着図書を紹介

学習参考書、五教科大量入荷!

語学春秋社の実況中継シリーズが全て入りました。CDで解説問題集が聞けるものもあります。ぜひ利用してください。

また進路ステーションの資料も各大学・学校の新しい資料入荷しています。

3冊まで1週間借りられます。図書館カウンターで手続きしてください。(当たり前ですが、書き込みは不可!)



岩波文庫・岩波新書、大量入荷

1年分の岩波文庫・新書が入りました。

岩波書店辞典編集部編『世界の名前』岩波新書2016 は『岩波 世界人名大事典』から生まれた読み物集です。『ハリー・ポッター』に名前を言っはいけないあの人が出来ましたが、アイヌでは人と似ている名前だと改名してしまい、みだりに本名を教えるはいけないんですって。

1993年に「悪魔」という名前を自分の子どもにつけようとして市役所に断られた日本人がいましたが、イタリアでは「生きている父や兄弟姉妹と同じ名前、滑稽な名前、恥ずべき名前をつけてはならない」という法律があるそうです。なぜ母親と同じ名前はOKなのか、疑問が残りますが。



6月の店頭選書で約20人の教職員が400冊以上の本を選びました。

今年も図書館ではハロウィーンの前週にかぼちやのランタンづくりをする予定ですが、ハロウィンといえば、魔女の祭り。

西村佑子『あなたを変える魔女の生き方』キノブックス2016 では魔女の歴史や、暦、グリム童話などの関連本の紹介や、日常での心構えなど、オトナの魔女を目指すためのマニュアルとなっています。興味のある方はどうぞ。



住野よる『君の^{すいぞう}臍臓をたべたい』双葉社2015 は惜しくも本屋大賞の2位だった作品です。「生きるってのはね、きっと誰かと心を通わせること、そのものを指して生きるって呼ぶんだよ。自分たった一人じゃ、自分がいるってわからない。そういう人と私の関係が、他の人じゃない私が生きてるってことだと思う。」家族以外に病気を明かしていない高校生の女の子が偶然男の子にばれてしまい、その子と最後の日々を過ごしてゆく物語です。

もちろん大賞受賞作・宮下奈都『羊と鋼の森』文藝春秋 2015 も所蔵しています。

ピアノの調律師を志望した青年が仕事をしながら人と出会う成長していく物語で、こんなにも色々な音を感じさせてくれる本はありませんでした。調律によってピアノって本当に変わるんですね! ピアノ、弾きたくなりますよ。調律していないけど。



文庫・青を解体しています。

創元推理文庫とハヤカワ文庫を文庫・青のラベルで分類していましたが、外国文学の小説(文庫・赤)や日本文学の小説(文庫・緑)、和洋ノンフィクション等(文庫・灰)に分類される作品が増え、同一作者が二手に分かれてしまって混乱を招きやすいので、文庫・青をそれぞれ文庫・赤、緑、灰に分類しなおして配架しています。青の文庫がどこに行ったかわからないときはOPACで調べてみてください。



またまた

学校図書館スタンプラリー

9月24日(土) 10:00~16:00

11月5日(土) 10:00~16:00

自分の好みのコラージュでブックカバーを作ったり、本棚のあいだからはみ出している動物の絵本クイズや「Book Go!」カウンターで指令を受け取って3回謎を解いたら、景品がもらえるゲームも実施します。

小学生(男女)、中学生女子と保護者の方、歓迎です。松蔭自慢の図書館、なかなか面白い空間ですよ。他の学校のスタンプと2個になると素敵なプレゼントがもらえます。中高生も参加できます!